

令和7年年度 相生小学校学校評価項目

《学校教育目標》 自他の人権を尊重し、持続可能な社会と幸福な人生をつくる、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かなたくましい児童を育てる。

評価項目1 主体的・対話的で深い学びを実現するための授業を実施し、学力の向上を推進することができたか (学力向上)					
①ICTを活用した学習					
児童1	学習の中でパソコンやタブレットなどを使うのは勉強の役に立つと思う。	教職員1	ICTを活用した授業(校務)の実践に取り組んだ。	保護者1	学校は、パソコンやタブレットを活用した学習に取り組んでいる。
②自ら学ぶ習慣・態度					
児童2	家で、自分で計画を立てて勉強している。(授業の予習・復習。テストなどの間違い直しなど)	教職員2	学級や個々の児童の実態を把握し、指導方法や教材を工夫し、自らの授業力向上に取り組んだ。	保護者2	家庭で、お子様は進んで学習に取り組んでいる。
③探究的な学習					
児童3	やってみたいことや分からないことを自分で考え、解決しようと取り組むことは楽しい。	教職員3	問題解決能力を育てるために、各教科の関連を図りながら、体験的、探究的学習に取り組んだ。	保護者3	学校は、地域の自然や産業、文化などを活かした教育に取り組んでいい。
④読書活動					
児童4	本や新聞を読むことが好き。	教職員4	学校図書館を利用、活用し、児童の学習活動や読書活動の充実に取り組んだ。	保護者4	家庭で、本や新聞を読むことをすすめている。

評価項目2 自己肯定感を高めるとともに多様な価値を身に付け、人権感覚豊かな人を育てる教育を推進することができたか (道徳・人権教育)					
⑤思いやりのある態度					
児童5	人が困っているときは、進んで助けている。	教職員5	人権感覚をみがき、自他を大切にす態度を育てている。	保護者5	家庭で、人権について話をするがある。
⑥いじめを許さない意識					
児童6	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	教職員6	人権を尊重した言動で範を示し、いじめの根絶に向けた教育、仲間づくり、いじめの早期発見、対応に努めた。	保護者6	学校は、命の大切さを教え、いじめのない学級・学校を目指し取り組んでいる。
⑦一人一人のよさを認める					
児童7	先生は、あなたのよいところを認めてくれている。	教職員7	一人一人のニーズに合った教育的支援や配慮を提供するとともに、児童のポジティブな行動を支援している。	保護者7	先生は、お子様のよいところを認めてくれる。
⑧幸福感					
児童8	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。	教職員8	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。(教職員自身について)	保護者8	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。(保護者ご自身について)

評価項目3 一人一人のよさを把握し、可能性を伸ばすための生活・運動習慣を身に付けさせることができたか
(個の尊重・生活習慣の育成)

⑨夢や目標

児童9	将来の夢や目標をもっている。	教職員9	キャリア教育年間指導計画に基づき、児童の社会的、職業的自立に向けた教育に取り組んだ。	保護者9	お子様は、将来の夢や目標をもっている。
-----	----------------	------	--	------	---------------------

⑩自分のよさ・自信

児童10	自分にはよいところがある。	教職員10	児童の自己有用感の育成に取り組んだ。	保護者10	学校は、一人一人のよさや可能性を認め、育む教育に取り組んでいる。
------	---------------	-------	--------------------	-------	----------------------------------

⑪あいさつ・コミュニケーション

児童11	進んであいさつや会話をし人とのつながりを大切にしている。	教職員11	温かい学校、学級風土を醸成し、あいさつや会話、対話等が行われるよう取り組んだ。	保護者11	家庭では、あいさつや会話を大切にしている。
------	------------------------------	-------	---	-------	-----------------------

⑫健康・運動習慣

児童12	食事や運動、健康に気をつけて生活している。	教職員12	児童の発達段階に応じた健康教育や望ましい運動習慣の形成に取り組んだ。	保護者12	学校は、健康教育や運動習慣の育成に取り組んでいる。
------	-----------------------	-------	------------------------------------	-------	---------------------------

評価項目4 園・小・中の接続・連携と持続可能な社会の実現を目指した地域や家庭との連携を推進することができたか
(地域・家庭・学校の連携)

⑬地域とのつながり

児童13	地域の行事に参加している。	教職員13	地域(若しくは保護者、園・中学校、関係機関等)と連携・協働した教育に取り組んだ。	保護者13	お子様は、地域の行事に参加している。
------	---------------	-------	--	-------	--------------------

⑭安全・防災教育

児童14	安全や防災の学習を思い出し、命を守る行動ができる。	教職員14	児童の生命および安全を守るために、組織的かつ計画的に学校安全、学校防災に取り組んだ。	保護者14	学校は、安全教育や防災教育に取り組んでいる。
------	---------------------------	-------	--	-------	------------------------

⑮相談体制

児童15	困りごとや不安があるときに、先生や学校の大人にいつでも相談できる。	教職員15	業務の改善や効率化に取り組み、子どもと向き合う時間の確保並びに教育の質の向上に努めた。	保護者15	教職員は、保護者からの連絡や相談に適切に応じている。
------	-----------------------------------	-------	---	-------	----------------------------

⑯家庭とのつながり

児童16	家の人と学校の出来事について話をする。	教職員16	教育方針や教育活動、成果等の発信、行事等の連絡により、家庭への適切な情報提供を行い、家庭との連携を図った。	保護者16	日頃の教育活動や家庭への連絡など、必要な情報がわかりやすく伝えられている。
------	---------------------	-------	---	-------	---------------------------------------